

## 2013年度化学史研究発表会（年会）詳細プログラム

7月6日(土)

9:30 受付開始

9:55 開会の辞：会長挨拶

10:00~12:00 一般講演

座長：新井 和孝（放射線医学総合研究所）

北原 文雄（東京理科大学名誉教授）

「ミセル誕生 100 年を迎えて——「ミセルの化学史：後編」の試み」

五島 綾子（元静岡県立大学）

「ナノテクノロジーの化学史 (1) ナノテクノロジーの萌芽とその背景」

座長：三浦 勇一（(株)トクヤマ）

亀井 修・大田博樹（国立科学博物館）

「産業技術史資料情報の社会的な知としての共有化について——「技術の系統化調査・農業」を中心にして」

島原 健三（成蹊大学名誉教授）

「事例研究・小学会の誕生まで——日本キチン・キトサン学会の場合」

13:00~16:30 シンポジウム「事典の世界—『化学史事典』発刊に寄せて」

座長：隠岐さや香（広島大学）

吉本 秀之（東京外国語大学）

「ハリス『技術事典』の起源」

河野 俊哉（東大院・法政大）

「18世紀の百科事典における「化学」

寺田 元一（名古屋市立大学）

「『百科全書』と化学」

岡本 拓司（東京大学）

「科学・技術・倫理百科事典の翻訳・編集について」

大野 誠（愛知県立大学）

「『化学史事典』編纂の現状と今後」

16:45~17:45 総会

18:00~20:00 懇親会

7月7日(日)

9:00 受付開始

9:30~12:00 シンポジウム「20世紀化学史」

座長：梶 雅範（東京工業大学）

梶 雅範（東京工業大学）

「日本化学史の課題」

大野 誠（愛知県立大学）

「20世紀イギリスにおけるエリート科学者の輩出基盤」

古川 安（日本大学）

「福井謙一と日本の量子化学」

内田 正夫（和光大学）

「日本化学会認定「化学遺産」で語る日本の化学史・化学技術史」

13:00~14:00 特別講演

座長：吉本 秀之（東京外国語大学）

亀山 哲也

「化学史学会—創設から40年—」

14:15~17:15 一般講演

座長：吉田 晃（明治大学）

伊藤 一男（京大アイソマーズ）

「ドイツ化学史の旅 (4)——わが国近代化学の源流はリービヒ学派にあり」

中辻 慎一（兵庫県立大学）

「Paul Friedlaender の生涯と研究について」

Yona Siderer（ヘブライ大学）

「19世紀中葉の日本における化学言語の発展（英語）」

座長：和田 正法（東京工業大学）

山口 真

「Duschinsky の足跡と光化学（その2）」

黒田光太郎（名城大学）

「電子顕微鏡法の化学物質研究への展開」

原 宏（東京農工大学名誉教授）

「オゾンと Robert Angus Smith」

17:20 開会の辞：副会長挨拶